



日蓮聖人坐像 (京都・本満寺)

お盆の候 皆様には、當山の興隆発展の為に、ご浄財喜捨を賜り、諸行事のご奉仕など、種々の高配に對し心から御礼申し上げます。

順信院 日薫

第三十三世



圓頓寺

たより

発行所  
山鹿市山鹿55  
圓頓寺  
☎43-2424

當山第三十二世一妙院日淳荒木恵海上人は、一月二十六日法寿九十二歳を以つ

日淳上人本葬儀奉行

さて、日蓮大聖人御誕生八〇〇年の祥会を用途にあたり、當山も、檀信徒の衆智を集めて、宗門が提唱する「伝える次世代へ」、親子・孫への「信仰の相続」と「教化育成」を主眼とした各種の布教伝道活動の展開を図り、新たな「御題目結縁運動」の輪を及ぼさんとするとき、慶事弔事の稀有なる二大式典が奉行されました。

特に、本葬の儀を、日淳上人が、出家得度されて以來、七十有余のご法縁を頂き、當山の正干与人で恵法縁の縁頭であらせられます、熊本市長延寺ご住職、原恵晋僧正に御導師を頂き、県内外八十余のご寺院各聖、

本葬儀の報告と御礼



法燈継承時の恵海上人

て遷化され、遺弟近親者により一月二十九日に密葬儀が相営まれ、本葬の弔事は「檀信徒葬」として三月十五日厳修されました。

昭和二十二年に、圓頓寺第三十一世日常上人の遷化に遇い、昭和二十二年三月、當山第三十二世の法燈を継承するや、時恰も戦後激動混乱の極に達し、意を専ら寺門興隆に注ぎ、檀家信徒のお力を賜り、諸事業

日淳上人の偉業

恵法縁会並びに檀信徒の皆様、また、日頃、親しくご厚誼をいただいております皆様のご列席を賜り、厳修することが出来ましたことは、皆様方のご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。  
想えば、日淳上人は、昭和七年、十五歳にして、長延寺の先のご住職原恵進上人について得度され、爾來師範上人の膝下に在りて、その薫化を蒙ること十五年。

平成五年十一月、七十七歳にして、弘子を小納に授けられ、朝靄暮雲を臨み自受法楽の境に入らんと欲せられ、平成十九年一月三日頃より体調を崩し療養に勤めしが、去る一月二十六日、忽然として化を他界に遷せ



平成5年法燈継承式のご一家

に、盡粹されること四十八年の永きに渡り、當山の發展に寄与されました。

らる、実に痛恨の極みであります。時に上人世壽九十二歳、法臘七十有四年でありました。

ただ、上人の心残りは、孫弟子に當る副住職英人上人が、苦修練行中で大荒行より帰山するまで、あと得幾ばくかの、更賜寿命を得ればと、日薫の想い、真に痛惜の極み哀別の悲しみに満ち、只感慨の情、転々禁ぜざるを得るのみでありました。

今後は、遺された遺弟・遺族は、これまで受けた薫陶や、お教えを守り、各ご寺院各聖と檀信徒の皆様のご支援とご協力を賜り、心一にして、圓頓寺を興隆していくことが、報恩の道として、これからも、精進していく覚悟であります。また、上人が生前皆様よ

り頂きましたご厚情に対し御礼申上げるとともに、ご回向、ご焼香たまわり、心より御礼申し上げ紙面をお借りし挨拶に代えさせていただきます。

**日攝上人 大荒行成満**

さて、今般、仏祖三宝諸天善神さまの御加護と檀信徒の御支援・御協力を賜り、當山副住職荒木英人日攝上人が、日蓮宗加行所に第再行入行中でしたが、本年二月十二日、寒中老百日間の大荒行第再行成満し帰山奉告式が、副住職はじめ、六名の成満僧のご出仕と県内外のご寺院各聖七十余名のご臨席のうえ、多数の皆様御参集で、誠に盛儀に催されました。

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街  
☎(0968)43-2282

**お食事処**



HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435

特に、大荒行入行に対し、檀信徒の記念事業として、推し進めて参りました。幸いに、皆様方々の多数ご祈願を賜り、「異体同心」一致結束のご賛同ご協力を得て、献身的なご奉仕に心より合掌し御礼を申し上げます。

また、英人上人の大荒行の慶事は、ご信者として、この法縁を自ら努力して頂



帰山奉告式で読経する副住職

くことが出来た姿こそ、「菩提心をおこす人は多けれど、退せずして実の道に入る者は少し」と宗祖が説いておられるように、真の信行の姿であり、菩薩行の姿と皆様も確信されたのではないでしようか。

これからは、皆様の苦惱を祓う「幣束相承の加持祈祷」を行うことが出来る上人として活躍するものと期待し、壹百日間の苦修練行の修行の功德をもって、檀信徒の教化指導に励み、「真の弘通者」として、宗祖の御本願を相続するため、その「お題目の輪」を弘めるため、益々精進する事を願うものです。



最後に、小納、本年五月二日、日蓮宗熊本県修法師会会長を退任いたし、四年間在任中は皆様のご厚情を頂き、大過なくその任を果たし得ましたことを心より感謝申し上げます。

これからは、檀信徒の絶大なるご理解とご支援を賜り、當山のこれらの諸事業

御生誕八百年に向い



水行式で水行肝文を唱える副住職

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館  
やすらぎの里

天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



成満会の副住職

孟蘭盆施餓鬼供養会

円成に力を注ぎ、私たちの理想である「成仏」が未完成であつても、手を取り合つて一人でも多く幸せになれるように菩薩行を実践することを願ひ、日蓮大聖人の御誓願と報恩の心をうけついで、忍難慈勝の大神に報い邁進したいと存じます。

## 大荒行再行成満御礼挨拶

副住職 荒木 英人

大暑の候、壇信徒の皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、私も旧年十一月よりの寒壺百日大荒行堂における苦行の後遺も愈々と癒えてきた今日この頃です。

来る七月三十日(月)土用丑の日、當山では孟蘭盆施餓鬼供養会(ほうろく灸祈禱会)が奉修されます。お盆には、真心をこめてお題目を唱えて、ご先祖さまをおむかえ致し、最高の親孝行のお経といわれる法華経で追善の真を奉げたいものです。

南無妙法蓮華經

まずは、昨年度大荒行堂再行入行に際し、物心両面の御温情ある多大なご支援を賜り、また、帰山奉告式においても、盛大な式典を厳修していただきたる段、総代をはじめ世話人および檀信徒各位の皆様に対し、厚く御礼申し上げる次第であります。

振り返り見ますと、再行成満出来ましたことは、やはりひとえに、圓頓寺仏祖三宝諸天善神のおかげであると実感すると共に、甚々たる報恩感謝の気持ちと同時にこみ上げて来ます。二回目の百日の修行も、確かに苦しいものでありましたが、ご加護もあつてか、大きな病気怪我も無く、精進することが出来ました。そして、無事、再行成満の証である幣束相承の允許を頂

# ニッセイ同和損害保険株式会社

## 熊本支店

〒860-0804 熊本市辛島町5-1 日本生命熊本ビル  
☎ (096) 353-3491 FAX (096) 355-7380

戴いたしました。  
今後も、當山に於いて、  
この修行に培った信仰を十

# 本葬儀・帰山式奉修に御礼

護持会会長 鬼木信次郎



お出迎への鬼木会長と副住職

お盆の候、当山檀信徒の  
皆様方には日々信行生活に  
精進いただき、檀家の本分  
を果たされ、種々のご高配  
を賜っておりますことに、  
役員一同心より厚く御礼申  
し上げますと共に、暑中お

二分に活かし、頑張つてま  
いる所存であります。  
南無妙法蓮華經

見舞い申し上げます。

さて、当山の上半期の諸  
行事が檀信徒の皆様のご協  
力をいただき、次のとおり  
行われました。

### 一、初講法要

一月十三日、日蓮大聖人  
様のご入滅第七二五遠忌  
初命日の報恩法要奉修。

### 二、臨時総会、会議

一月二十日、二十八日、  
副住職英人上人大荒行成  
満の帰山式の運営につい  
て、ご相談致しました。

### 三、大寒の寒修行

一月二十日より二十五日  
まで、午後七時より市内



臨時総会：受付担当者の打合せ

を行脚奉修。二十六日か  
らは御前様恵海上人遷化  
のため本堂にて、お題目  
を唱えました。

### 四、護持会総会

二月二十七日、圓頓寺檀  
信徒会館において、会務  
報告、決算報告、監査報  
告、役員補充、活動方針、  
予算案等について報告、  
審議、承認等を行いました。

日産プリンス熊本販売(株)

※ 只今、試乗会開催中 ※

お車のことなら何でも、お気軽にお電話ください。

( 3号線沿い、中央通り )

山鹿店 0968-43-5148

山鹿市上下水道工事指定店  
給排水・衛生施備・冷暖房設計施工

合資会社 **とらや商会**

山鹿市鹿校通1丁目3-29

☎43-2212(代)

(FAX) ☎44-5900

五、鬼子母神大祭及び彼岸  
会法要

三月二十八日、子安講並  
びに除厄開運祈禱会執行

六、大黒天祭及び立教開宗  
七五五年護法報恩会

五月三日、日蓮宗を開宗  
され、お題目を初唱され

た日。福、禄、寿の三徳  
の招福を願う法要。

終了後、恒例の特別福引  
きで楽しい一日。

七、合同大掃除

六月十六日午前八時より、  
護持会、世話人会、信行

会、婦人会、墓地所有者  
等各会合同寺内大掃除奉

仕の一日。

以上のように、お寺の諸  
行事や護持会活動運営が出  
来ましたこと、皆様方の浄  
行奉仕の賜と衷心より感謝  
申し上げます。

特に今般は、一月二十六



遺品などで厳修された尊前

日、御前様恵海上人が九十  
二歳をもって遷化され、二  
十八日通夜、二十九日お寺  
により密葬儀が相営まれ、  
三月十五日午前十一時より  
圓頓寺本堂に於いて、圓頓  
寺檀信徒葬として本葬の儀  
を、日蓮宗霊断師会理事會  
議長で、また当山正干与人  
であられます原恵晋僧正様  
に御導師を賜り、脇導師に  
日蓮宗宗會議員三坂恵人僧

正様、日蓮宗熊本県協議會  
前副議長吉岡恵尚僧正様、  
各県内お上人様式衆に、多  
くのお檀家の参列をいただ  
き、奉修致しました。



本葬儀で謝辞を述べる鬼木会長

また、四月七日役員會に  
於いて會計より決算報告が  
あり、檀信徒各家庭より多  
額のご志納金を賜りました  
が、不足分は特別會計から  
補填し無事に終了したこと  
を報告致します。

拝む心で尊い品を◆お仏壇、お仏具のご用命は



# 梅谷佛具店

仏壇・仏具・寺院用品・寺院納骨堂設計施工

本店 福岡県博多区下川端町10-9 TEL 092-271-0456 代  
支店 福岡市西区周船寺3丁目9番4号 TEL 092-806-7499



帰山式で水行に向かう英人上人

さらに、今般皆様方のご支援をいただき、副住職「順境院日攝」荒木英人上人が、日蓮宗加行所に第再行入行中でしたが、二月十日寒中老百日間の大荒行を成満し、十二日に帰山奉告式が荒行僧七名のご出仕と、多数の檀信徒様のご参詣をいただき、厳肅に奉修されました。

本県修法師会副会長佐藤義光僧正様、当山干与人原恵晋僧正様始め各お上人様ご臨席のうえ、感激の祝辞を賜り、役員一同御礼申し上げます。また、檀信徒の皆様には一致団結のご支援、ご芳志を頂戴し心より合掌し、御礼申し上げます。

最後に、日一日と暑さが厳しくなりますが、健康に留意されながら圓頓寺の隆昌を願ひ、今後の護持会運営に一段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。合掌

帰山式当日は、熊本県宗務所長塩田義徹僧正様、熊  
**日蓮大聖人のおことば**  
佐渡御勸気抄  
徒いたずらに朽くさん身と法華  
經の御故に捨てまいら  
せんことあに石に金を  
代えるにあらずや

日蓮大聖人が佐渡へ流罪のおり、故郷である清澄寺の人々へ届けられたお手紙の一節です。  
「私が仏教の修行に入ったのは、自分が仏になることにより、今までお世話になった人々をも救いたいと

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3



佐渡奇瑞之図 (山梨・久遠寺)

思ったからです。仏になるには、必ず命にかかわるようなことがおこつてくると考えています。悪口を言われたり、切られようとしていたり、石を投げられたり、杖で叩かれたりするとは、法華経に説かれているとおりです。今私が遭っている難によって命を失っても、まさに経文のままに生きているのです。石ころを、黄金に代えているような悦びの中にあ

る導善師へも伝えてください。そして皆様方も悲しまないでください。」と書かれています。法華経に説かれた現世安穩ということとは、心配事の無い毎日が訪れるのではなく、どのような困難に遭つても、それにより正しい修行ができる和思考する人は、心静かに安穩でいることができるということ。いろいろな苦しみや悩みの多いこの世の中で、多くの人に仏様の教えを伝え救

いたいという目標に向かって、法華経を心の支えにして困難に立ち向かって乗り越えていく力となさるお祖師様の尊いお姿を感じ取ってください。そして、毎日の唱題修行の力にしてください。



福岡県久留米市  
妙正寺住職 田中 潮祐



呉服の反後の住所・電話が変わりました!!

〒860-0868 熊本市清水万石3-2-2

☎0968-344-4759 FAX096-344-4760



株式会社 呉服の反後

代表取締役 反後 皓雄



## 一妙院日淳上人

## 故荒木惠海上人を偲ぶ

## 尊敬を集めた惠海上人

護持会副会長 阿蘇品宗旭



我が家のアルバムに、セピア色の古い写真がありません。本堂の前で羽織、袴に儀礼をただした、昭和八年当時の総代さんら役員さんでしょうか、村雲尼公を中心に私の祖父も列席し、写っています。

惠海上人は父の法事や月回向の折、『阿蘇品家は春吉さんから正道さん、そして宗旭さんまで三代つづけて役員をしてもらっている』とよく言われていました。その言葉と写真を重ね思うとき、先祖代々の圓頓寺を菩提寺とした先祖に誇りを覚えます。

惠海上人は大正五年のお生まれで、私の父とほぼ同年でした。父は平成五年二月に急逝しましたが、そのとき惠海上人に導師として引導を渡して霊山浄土に

送っていただきましたが、読経中に惠海上人が嗚咽に詰まられたことを、今でも鮮明に覚えています。

丁度筆頭総代であった父でしたが、やはり惠海上人は、戦後の辛苦を共にした思いがこみ上げられたのでしょうか。特に戦後からやつと日本が立ち直る兆しの中、お寺の梵鐘が寄進されたとき、旧山鹿駅からお寺までの道中、牛車にて運ばれました。その誉れある大役を仰せつかったのが私の父や叔父、そして我が家の飼いや牛でした。

戦後荒廃した世相の中から今日まで、惠海上人は、その優しいお人柄に檀信徒の尊敬を一身に集められ、今日の圓頓寺の隆盛のため磐石の体制と築き上げて来られました。そのご功績を

婚礼・着付

サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277



昭和56年天童行列で人力車に乗る恵海上人

私たちは忘れることなく寺  
曆に刻み、永遠に称えてゆ  
かなければなりません。今  
は亡き恵海上人の哀愁に充  
ちた読経のお声、大きな日  
傘をさし、炎天のなか町中  
の回向、そして衣のまま自  
転車で、遠く菊鹿や鹿北、  
三加和まで砂利道を砂ぼこ  
り、汗にまみれての二回向、  
そのお姿は多くの檀信徒の  
脳裏に刻み込まれています。

常明山・圓頓寺第三十二  
世一妙院日淳（荒木恵海）  
上人には、去る平成十九年  
一月二十六日、九十二歳を



護持会副会長 山下トシ子

## 優しいお心の恵海上人

そのお姿こそが日蓮大聖人  
様の尊い教えを体現されて  
おられたのだと思う今日  
です。

今はただ、日蓮大聖人の

御元で天界の人として、私  
たちを見守っておられるこ  
とでしよう。ご冥福をお祈  
りするばかりです。

南無妙法蓮華經

もって遷化され、一月二十  
九日ご寺族により密葬の儀  
が相営まれました。

恵海上人の突然の遷化に  
際し、私たち檀信徒一同は  
どうすればよいかとまどい  
ながら、総代会と役員会を  
重ねては、悲しみに沈みな  
がらも話し合いを進めてま  
いりました結果、檀信徒一  
同で取り計らうとの枠組み  
がみえてきました

日蓮大聖人のお言葉『異  
体同心ならば萬事を成し遂  
げ、同体異心ならば諸事叶  
うことなし』を心にいただ



郷土に生まれて味ひとすじ

仏・祝会席・鉢盛・寿司



プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739  
仕出部 ☎ 44-5804



日蓮大聖人700遠忌報恩法要総代さんらと

き、真剣に考え、懸命に話し合いの結果、おのずと和やかなうちに、本葬儀のあり方が見えてきました。四月十九日の忌明け、三月十五日、圓頓寺本堂にて檀信徒葬を行うことを決定し、誠に儀に叶った話し合いでありました。

省みますと、恵海上人の常明山への晋山は、昭和二十二年とお聞きしています。

時期は終戦後の一番辛い時代で、その後四十八年余の永きに亘り、常明山・圓頓寺を守護され、私たち檀信徒一同の先祖を供養し、皆の幸せをお祈りいただき、私たちはこのご恩に授かり、大変なご苦勞をおかけしたのだと思います。恵海上人のご遺徳を忍び、及ばずながらも萬分の一のご恩返しのお印です。やすらかなご遺影が、おだやかに類笑まれていらつしやいます。

盛大・厳肅な檀信徒の本葬儀となりました。水を打つたような静寂ななかに、導師、脇導師の厳かな読経がながれ、緊張のなかにも、何となく和やかな心地が満ちてくる雰囲気でした。

本堂内の葬儀の様子が檀信徒会館の広間と、境内に張りめぐらしたテント内に

中継され、お焼香が出来るように設備され、多数のお参列の方々も混雑なく、落ち着いたお焼香に最後のお別れの祈りが出来ました。

ご遺族はいとも寂かに、慎ましく座していらつしやいます。英知上人と英人上人揃ってご挨拶にたれたました。儀礼にのっとり素手、素足にかいからげ、無垢の衣に身を治め、鄭重なやゝ

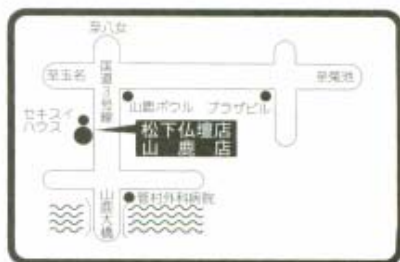


本葬儀：境内テント内の参列者

仏壇・仏具専門店  
**まつした**  
株式会社 松下仏壇店

- 大牟田本店**  
大牟田市上町2丁目2 上官通り  
☎0944-56-3675
- 熊本店**  
熊本市上水前寺1-12-12  
(東バイパス熊工前)  
☎096-384-5666
- 玉名店**  
玉名市中平畑1832 玉名高校入口  
☎09687-4-4840
- 山鹿店**  
山鹿市大橋通り404  
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかゝわらず配達いたします



本葬のみぎり、御前様の隠れた良いお話が、福岡市・徳栄寺、永江上人様の弔辞により、私にもよく解りま



福岡市徳栄寺、永江上人の弔辞

低いお声でのお言葉が述べられました。式場の中に少しばかりの緊張が流れてゆきます。お心のうちを察し申し上げ、涙がにじみます。退任されてからは、恵海上人のことを御前様とお呼びしておりました。



お出迎えの井上さんと副住職

『暑うござりますなあ』  
『ほんなこて、世話になり  
護持会会計 井上 勝介

## 壇信徒教化育成に全力

した。今でもその件を思い出しては臉が熱くなります。お若いときから御前様は、優しいお心の持ち主であられましたということがよく解ります。  
御前様、今この壇信徒葬の葬儀場にいる人みんな、御前様の処へ参るものばかりです。それまで気永くお待ちになって、おそばにつ

ますなあ』。この文字の一つひとつが声となり、それが文章になったなら……。あの抑揚のある語りかけを頭に描き、思い出される人も多いと思います。  
去る一月二十六日、九十二歳を一期として遷化された故恵海上人の本葬儀が、七・七忌にあたる三月十五

きましたら極楽浄土のお勉強を教えていただきます。お釈迦様は、峠に立たれ、この世を振り返り、この世は甘味なものだと言われました。私共はまだまだこの世の苦を覚悟して暮らしてゆきます。そして圓頓寺と共に仲良く日々の生活にいきまします。人間、生ある限りあらゆること

日に、「長延寺山主、原恵晋上人」を導師にいただき、多くの県内寺院を始め、法縁寺院、遠くは千葉県よりの県外寺院、そして多くの壇信徒に囲まれ、「壇信徒葬」として厳かに営まれました。  
故恵海上人は昭和二十二年、戦後の混乱期に法燈を継承され、その後五十年近

ありますので、壇信徒一同仲良く楽しくお詣り致します。  
きつと日蓮大聖人様がお守り下さるものと信じます。毎日が楽しくありますように、心よりお祈り申し上げます。  
南無妙法蓮華經

く護法護持、並びに寺門運営に努められ、特に昭和三十年頃迄の多くの困難を乗り越きられ、檀信徒の教化育成に力を注がれたことは、尊敬の念を抱かざるをえません。

藁葺きの旧庫裡を立て替えたときの喜ばれたお顔が目に浮かびます。

夏のカンカン照りでも、手足が凍える真冬でも近い



本葬儀：導師の原惠晋僧正

ところは歩いて、遠くは自転車に乗って泊まりがけで檀家廻りをされている姿はありがたく、皆の尊敬するところでありました。

このご遺徳に報いるべく、早くから「本葬儀委員会」が結成され、万端の準備のもと、多くの檀信徒の手によつて雨天にもかかわらず厳かに、そして整然とお見送りができたのも、恵海上人のご遺徳の賜であると思えます。

今後英知上人、英人上人のもと、護持発展に努めることが最大の報恩であると思えます。檀信徒一同ひとつの心をもつて、圓頓寺の隆盛を図ることをご霊前にお約束し、故恵海上人のご冥福をお祈りいたします。

南無妙法蓮華經



最後になりましたが、各委員会を担当していただきました皆様のご苦勞を心より感謝申し上げます。ありがとうございました。合掌



平成2年英人君の得度式 (英人上人へ)

地元とともに



熊本第一信用金庫  
山鹿支店

山鹿市九日町1616-7 TEL (0968) 44-4125

# お檀家廻りが目に浮かぶ

婦人会会長 豊田 ハヤ



弔辞を読む豊田婦人会会長

平成十九年三月二十五日、常明山・圓頓寺第三十二世一妙院日淳荒木恵海上人の本葬儀が執行され、熊本市長延寺・原恵晋上人を御導師に、脇導師二名、恵法縁のご住職、県内外の多数のご住職列席のもと、英知上

人、英人上人は遺族及び直弟子として、「清浄衣」という荒行堂入堂の際にも着用する、襟を正し、かつ僧階を無くし原点にかえる麻の衣で着座され、おごそかに檀信徒葬（本葬儀）が執り行われました。空気が静かに流れる中、読経が終わりました。

恵海上人もさぞかし喜んでおられることと思います。私は弔詞を述べさせていただきました。

## 弔詞

常明山・圓頓寺第三十二世一妙院日淳荒木恵海上人の御遺影の御前で永遠の別れの言葉を申し上げることになりました。本当に人の世のはかなさ、



本葬儀：清浄衣で正座する両上人

世の無常を感じております。なんにも解らない私たちに、南無妙法蓮華經のありがたいお題目を唱えることを教えていただきました。その時以来私たちは、ありがたいお題目を心の中에서도唱えております。

町に出ると、一心に自転車に乗ってお檀家の供養に廻っておられる、恵海上人の姿が目の前に浮かんで参ります。良くお説教も聞き、

セレモニーホール

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948

山鹿  
天龍会館

山鹿消防署横 TEL (0968) 44-0444

旅行にもご一緒させていただきました。今は本当によい思い出になりました。いつも婦人会の皆様方に、優しくお言葉をかけておられました。

日淳上人は、昭和二十二年に法燈を継承され、戦後の激動の時代、檀信徒の教道に注がれ、以来四十八有余年の永きに亘り護法護持、並びに寺門運営の法務に従事され、お題目の拠点拡大を図られました。特に宗教的社会教育の教風宣布に活躍され、檀信徒の教化育成に力を注がれました。日淳上人のご恩に心から感謝致しております。私たち婦人会一同お題目を一心に唱え、ご恩に報いる覚悟です。何とぞ御加護賜りますようお願い申し上げます。



平成2年得度式（住職3代の誕生）

いよいよ永遠のお別れです。

ご功績を讃え、極めて粗辞ではあります。弔詞といたします。

南無妙法蓮華經

圓頓寺第三十二世一妙院日淳荒木惠海上人、安らかに眠り下さい。

平成十九年三月十五日

圓頓寺婦人会

会長 豊田ハヤ



お通夜に参列のお上人様たち



1月26日惠海上人の枕経

有限会社 盛文社印刷

山鹿市下町1807  
TEL 0968-43-2604  
FAX 0968-43-6075

圓頓寺 護持会  
圓頓寺 婦人会  
圓頓寺 信行会

奉任地区当番制に  
ご協力お願い致します



本葬儀：原恵晋僧正の歎徳文



密葬に参列の檀信徒ら



本葬儀：三坂上人の献茶献供



本葬儀：塩田県宗務所長の弔辞



本葬儀：焼香する坊守さん



本葬儀：焼香する英知上人

お題目から、  
はじまる。



大久保理容店

山鹿市堀明町1025

☎ 43-2410

地区総代 大久保 健 一

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範



順境院日攝上人

英人上人の大荒行成満

二回目の出迎えに感謝

護持会会計次長 原 文雄



どちらが荒行僧？原さん

平成十五年の大荒行初行の出迎えに続いて、今年のも再行の出迎えにも参加することが出来ました。ありがたく思っています。

二月九日早朝本堂で英知

上人から祈祷を受けた後出發。千葉県・法華経寺へ向かいました。十一時前に到着し、昨年お寺でお見送りして以来の英人上人導師のもと、五十名位の修行僧の方から特別祈祷をしていただきました。ただただ頭が下がる思いでした。その後修行僧面会所で英人上人と面会することができ、お瘦せになりましたがわりと元気な姿を拝見し、ごく短時間でしたがお話をして安心しました。

翌日は三時頃起床し、四



お出迎え：真間・弘法寺で法話を聞く参加者

時前に宿を出発して荒行堂へ行きました。朝早かったせいか、まだ出迎えの方は少なかったのですが、時間がたつにつれ境内は何千人と人があふれました。私たちは二カ所に別れて出迎えました。丁度六時に瑞門が開き、荒行の回数が多い修行僧の方から出てこられます。英人上人は半分より前の所で出てこられました。百人

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手会館

横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

十名の修行僧の皆様顔を拝見していますと、成満出来た喜びに満ちたお顔に見えました。英人上人の姿が見えたとき、自然とお題目が出て来ました。

この感動、口で言い表すことは出来ません。英人上人は、さらに荒行（参行）に行かれることがあると思います。初行・再行の出会いに参加されなかつた皆様、お迎えに行つてあなたも感動を味わつて下さい。私の体験からお勧め致します。もちろん私もまたまた参加したいと思っています。

私は願を掛けました。英人上人の入行に合わせて剃髪し、荒行が成満するまで刃物を使わないと。荒行が終わつたら英人上人と一緒に断髪式をする。と英人上人と約束を致しました。各

荒行僧の帰山式が終わつた三月十四日夕方、住職上人のハサミにより断髪式をしていただきました。何事もやれば出来るかと勇気が出て

## 感動と感激と涙

山鹿市 阿蘇品ケイ子



枝垂れ桜（右から二人目が阿蘇品さん）

若上人（英人上人）は、再度大荒行に行かれましたが、私は、始めてお迎えに参加することができ、大きな感動、感激をいただきました。

二月九日の早朝まだ周辺

来ました。

これからも信仰を深めて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

合掌

は暗かつたお寺に集合し、みんなで御本尊にお詣りして、英知上人のお話を聞いた後マイクロバスで出発しました。福岡空港に着くころになるとうつつすらと明るくなつてきました。夜の雨も止み、飛行機の中に太陽の光が差し込んできました。いい天気になり、これも仏祖のご加護かとありがたく思いました。

荒行堂で久しぶりに若上人にお会いすることが出来ました。やはりお痩せになっていました。お顔を見て



副住職と柴又を散策

嬉しくなりました。面会後ホテルに着き、夕食はバイキングで美味しくいただきました。明日も朝早いので早めに床につきました。

翌日は三時に起き、中山法華経寺の荒行堂へ歩いて行きました。夜雨が降つたのか石だたみは濡れていました。明け方は少し寒く感じました。まだ周囲は暗かつたけど照明がついていたの

で、「ここでよかね」と瑞門の近くで荒行僧が出てくるのを待ちました。瑞門にはしめ縄が張られ、塩が三カ所に山ほど積まれてありました。

六時に瑞門が開くそうので、待っていたら奥の方から大きな声で、『南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經』とお題目が聞こえてきました。壱百日間修行され、髪もひげも伸び放題で、素足に下駄を履かれた百八十名の荒行僧のお上人方が、何千人ものお出迎えの中を出てこられました。「うちの若上人はまだかな」と待っていました。じつと瑞門の方を見ていて、『出られた。出られた』と、私はいつの間にか大きな声をあげていました。若上人も私たちの方に目を向けられました。

『南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經』と一心に手を合わせました。

若上人もお元気な姿で瑞門を出られ、私もお迎えに来られて良かった感動と感

## 成満旗に感動!

松下仏壇店 吉田 政利



成満旗の前に全員集合

それは初めての経験でした。去る二月九日、護持会・信行会の皆さんと千葉県の大本山法華経寺に着い

激と涙で一杯でした。

帰りの機内のレモンスカッシュは、一段と美味しく感じました。

南無妙法蓮華經 合掌

た瞬間、全国からの檀信徒方が準備された数えられないほどの「成満旗」が、始めて見る者の感動を誘い、御信心の深さを痛感致しました。

荒行堂の祈祷所で、昨年十月二十六日に立出されて以来初面会が初御祈祷となり、この上ない喜びでお会いできました。厳しい修行で瘦せられたお姿とは別に、慈愛に満ちた表情をいただき、安堵しました。翌日お待ち遠しくなりました。

## 熊本日山新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

本総代 阿蘇品 宗 旭

社会福祉法人 大道福祉会

## 若葉保育園

理事長 阿蘇品 賢 治  
園長

毎度ありがとうございます

米・肥料・農薬・たばこ

(全商品配達致します)

## (有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦

☎ (0968) 43-2526

無料電話 0120-23-2526

山鹿市大宮町641-2

十日早朝三時に起き、ご参加の方々と一緒に法華経寺へ向い、諸準備を致しました。昨日よりもより多くの「成満旗」が立ち、境内は人の渦と化し、テレビ報道の撮影など場所の確保で大混雑な中、奥の院よりお題目が聞こえてきて、午前六時、待ちに待った瑞門からの荒行僧諸堂参拝行列が始まり、約百八十名の荒行僧と、それを山道でお迎えする数千の檀信徒様の姿が、布施と法施の荘厳なる縁起の世界を現し、仏道のありがたさを体感しました。

午前中は祖師堂で満堂の中、声題勤行と許證授与がありました。あまりの多さで英人上人を拝見できなかったことが唯一、残念でした。

解散・記念撮影の後、英



荒行堂を出た英人上人（二人目）

人上人と会話することができ、十名近い退堂者も出た。厳しい今年の荒行で、何を思い成満できたか伺ったら、

## 恵海上人に心で話しかけ

護持会会計 井上 勝介

軽やかに響くうちわ太鼓の音色、『南無妙法蓮華経』の唱題も元氣良く聞こえま

『入堂した時から自分の命は、全て菩薩様へお預けしていたから』とお答えいただきました。

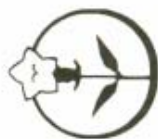
私も二十年間仏具の世界に従事してきました。奉ずる仏恩と感謝をこのように、如実に拝見できたことは初めてです。英人上人の気持を糧に、日々生かさせていただくことを、感謝しながら日夜精進致します。

お誘い下さった英知上人、並びに皆様方から感謝申し上げます。ありがとうございます。合掌

す。爆竹を合図に先導僧、玄題旗、そして大勢の出迎えの人々に守られるように七名の修行僧の長い長い行列が続きます。手を合わせ

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉



清流荘 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768  
電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)  
ファックス (0968) 43-5153

る人、手を振る人、それぞれの思いの中、やがて唱題行列は山門に到着しました。住職、寺族、総代さん、各役員を始め行列に参加できなかった檀信徒の皆さんらを迎えの人の輪に故恵海上人のお姿がないのが寂しい。昨年十月の出立のときは元気であられたのに。喜びなはつただろうにと思うとき思わず涙する。『若上人の帰んなはつたばいた』と心の中で話しかけました。



帰山式：唱題行列を行く玄題旗

本堂で法味言上の後、水行祈願式、成満帰山奉告式、特別祈念・法楽祈祷と滞りなく行事は進みました。県内各寺院、法縁寺院、檀信徒、本堂にあふれんばかりの人々、皆英人上人、また他の修行僧の方々を見て、祝いとねぎらいの声の合唱。再行ということで初行のときの経験を生かし、護持会では早くから支援委員会を立ち上げ、各自の持分を決めて計画は目論見ど

婦人会副会長 瀬口ミズ子

副住職英人上人は、平成十五年に大荒行初行を成満され、このたび昨年十一月一日より大荒行第再行の修行も難苦行を乗り越えご成

## 目がうるんだ帰山式

おりに進みました。皆さんそれぞれに責任を持ち、本当に良く動かれたことは、お寺に対する奉仕というより、自分の修行ということを意識されてのことだと思えます。私たちは二人の荒行僧を擁する格式あるお寺の檀信徒であることに誇りをもち、今後護法護持に努めていかなくてはと思います。充実した帰山式の一日でした。

満され、心よりお喜び申し上げます。一日一日の修行が厳寒の壱百日でございました。二月九・十日、中山大本山法華経寺に多数でのお出

英人上人、本当にご苦勞様でした。



帰山式：帰山奉告文を読む英人上人

迎えに行くことができ、百日間のご苦勞が残るお姿をお迎えし、思わず目が潤んで参りました。二月十一日は帰山式の準備で、朝から境内の飾り付け、受付準備の確認、玄題

十二日は朝早くから受け付け、唱題行列、駐車場、接待、弁当、交通指導、広報などを担当される方が集合して、担当部署につかれました。九時過ぎに唱題行列の方々がお寺を出発、集合地へ向かわれました。やがて荒行僧七名も合流し、九時四十分爆竹を合図に唱

旗など唱題行列の準備、水行場の飾り付け、本堂内の飾り付け、駐車場の確認、接待の確認などなどで多忙を極めました。



前列左が瀬口さん

題行列隊が出発、団扇太鼓を叩く先導のお上人、檀信徒が持つ玄題旗を先頭に、団扇太鼓、成満記念旗の後に荒行僧七名が続きました。唱題行列隊山門到着後、本堂御宝前で法味言上があり、その後荒行僧七名により水行祈願式が行われました。引き続き帰山奉告式が厳かに奉修され、若上人が帰山奉告文を読み上げられました。

小休止の後、特別祈念・法楽祈祷が数回に分けて行われました。檀信徒、婦人会の各係分担の皆様と共にご奉仕が出来まして、ありがとうございました。最後にになりましたが、御前様・恵海上人のお姿が無く残念に思いました。

合掌



副住職を待つ



成満旗を立てる準備をする檀信徒

和食亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌  
灯笼シヨトシヨ

山鹿市中1000-2

☎44-3131



帰山式：玄題旗を準備する唱題行列担当者



帰山式：水行場の準備



荒行僧到着を待つご住職



唱題行列を行く荒行僧



許證授与



100数日ぶりに山門をくぐる英人上人



帰山式のご住職寺族、檀信徒



塩田県宗務所長の祝辞

五月三日、例年どおり立教開宗七五五年護法報恩会と大黒尊天祭が盛大に厳修されました。当日三日は天候に恵まれ檀信徒の方々が



住職賞の大山さんご夫妻とお孫さん

佐賀県鳥栖市 大山 唯男

# 嬉しさも格別・住職賞

## 立教開宗会・大黒天まつり

立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり  
立教開宗会・大黒天まつり

大勢集まり、住職上人を導師として立教開宗法要が行われ、次いで各お檀家さんの大黒さんの御祈祷がありました。法要終了後、檀信徒会館で当番地区の方々や婦人会員の方々が作られた、おいしいお昼のおときをいただきました。  
おときでお腹を満たした後、恒例の福引のため本堂に集まりました。護持会役員さんのかけ声と呼び番号、総代さんの解説付きの空くじ無しの福引が行われ、歓声と拍手で賑やかに進行され、番号が呼ばれる声も歓声でときれがちになり、興



立教開宗会、大黒尊天参列の檀信徒

奮気味で最後の特別福引に移りました。私は鳥栖市に住んでいますのでなかなか参加できず、今回で二度目の大黒尊天祭に参加でしたが、思いもなかった最後の特別賞・住職賞に当たることができ、大変驚いています。また嬉しさも格別です。この幸運を大事に生活したいと思っています。最後にになりましたが、役

ビル新築工事から増改築まで何でも致します  
住宅金融公庫其他手続代行

# 井上組

井上勝介  
本総代 井上勝介  
護持会会計

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

慶弔用お花承ります

営業案内 生花・造花・鉢物



全国へお花が送れます。詳しくはお気軽にお電話で！

帯山プラザ内

熊本市三郎1丁目1-1-5 TEL096-387-4607



員、婦人会、世話人の皆様方、調理当番の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。大黒

# 最高の幸せ・婦人会賞

山鹿市 吉田 知子



婦人会賞を胸に抱く吉田さん

五月晴れのさわやかな好天気のもと、立教開宗報恩会と大黒尊天祭があり、思いがけなくも福引特別賞・婦人会賞の素晴らしい「花の寄せ植え」を胸にすることが出来ました。

様ありがとうございます。皆様ありがとうございます。南無妙法蓮華経

前日は福餅を婦人会で、額に汗して心を込めてたくさん作りました。

三日は午前中に、英知上人を導師として立教開宗七五五年護法報恩会と、大黒尊天大祭・檀信徒さんの特別祈禱があり、英知上人は御宝前に安置されたお檀家さんの子大黒様を、法水により一体、一体お清めされました。

婦人会及び当番地区の皆様、心のこもったおときで昼食をいただきましたあと、福引が行われました。第一回目の福引が始まると皆様



体力回復し副住職賞を手渡す英人上人

目を輝かし、胸をどきどきさせながら自分の番号が呼ばれるのを待ちました。番号が呼ばれるたびに喜びの声が上がりました。賞品には清酒やビール、醤油、コーヒ、洗剤、缶詰、洗濯用品、海苔、寝具などなど、品数、種類とも豊富でした。いよいよ最後の特別賞になりました。檀信徒や関係者から提供された多くの特

建設業  
砂利採取販売業  
コンクリート二次製品製造販売  
有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊  
山鹿市中483  
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

代表取締役 中原徳男

熊本県山鹿市栄町298  
電話(0968)43-2087

別賞は、どなたに当たるのかなあー等と思いながら、読み上げられる番号を聞いていました。『特別賞の婦人会賞は百番です。どなたですか。』と言われる声に、まさか私の百番が特別賞の百番になるとは本当にビックリいたしました。夢にも思わなかった幸運に、始めは自分の耳を疑いました。隣の席の芋生さんが、『あなたじゃないですか。』と言われ、『ハイ、百番は私です。』と言って前に出ました。皆様から大きな拍手を頂きました。『何か一言』と言われ、『余りの幸せに夢のようです。胸が一杯で何も言えません。ありがとうございました。』と言って、素晴らしい花の寄せ植えを胸にしっかり抱いて自席に戻りました。また大き

な拍手を頂き、御宝前で皆様に祝福を受けました。この一瞬更に幸せをかみしめました。これからも佛心を深め精進しなければと強く思いました。

特別賞・婦人会賞を頂いた

がんばる

お檀家さん

⑤

## 日本シニア太鼓準名人



みごとな演奏田中さん

たとき『婦人会賞には副賞が付いています。』と言われ驚きました。それは圓頓寺たよりの原稿を書くことでした。でも考えてみますと、特別賞を頂いた喜びを皆様にお伝えすることは大

事なことだと思い、本当に久しぶりにペンをとりました。お世話いただいた皆様、ご参加の皆様ありがとうございます。

合掌

者です。

コンクールについて伺いましたら、出るつもりはなかったが、動きが激しい太鼓をシニア（六十歳以上）

で叩く人は少なく、九州太鼓連盟からは是非出場して欲しいと強く要請され、ほとんど練習無しで参加、抱え太鼓で出場されました。

大人の審査員は、大学教授や太鼓連盟の理事等専門家ですが、自分も太鼓を叩

今回は、全日本太鼓連盟主催「第三回日本太鼓シニアコンクール」で準名人に輝いた、山鹿市鹿校通の田中寛次郎さんを訪ねました。（広報やまが二月号十ページ参照）

田中さんは、昭和五十六年に結成された山鹿太鼓保存会に翌年加入し、二十五年を超えるベテラン太鼓奏

く子供審査員は純粋でシビアに見るので、子供に感動を与える演奏が出来なかった奏者は、上位入賞できなかったそうです。二十八個人・団体の参加者の中で、子供の純粋な判断と、専門家の評価で田中さんは準名人に輝きました。



その技量を維持するため  
の練習は、毎週月・金曜日  
にカルチャースポーツセン

ター野球場の倉庫で練習し、田中さんはただ一人の無欠席で頑張っています。

保存会結成以来、例年六十回以上演奏活動をしており、北は三重県伊勢神宮から、南は沖繩までに及び、今年は九月に山形県天童市でのイベントへの出演が決まっています。さらに海外演奏の依頼もあります。資金が無いから行けないと少し残念そうでした。

奥さんの美代子さんは子育てが一段落して、遅れて保存会に加入されています。奥さんについて寛次郎さんは、下手と謙遜されましたが、いなくては会として困るとも話されました。美代子さんは、二、三年で止めるつもりで、こんなに永続するつもりはなかったそうです。



太鼓大好き田中さんを支える仕事は便利屋で、お客さんの要望に応じて何でも引き受けるそうです

保存会では年間を通して会員を募集しており、まず練習を見に来て欲しい。基本を覚えるまで三ヶ月かかるが、希望される方は山鹿市観光課、あるいは田中さんまでご連絡下さい。

田中さんはお寺では地区

世話人として、帰山式の準備、合同大掃除などお手伝いを良くしていただいています。若上人について、『荒行再行を終えられて変わられた。損得抜き、欲得抜きで無心になられた。上辺でのもの言いではないと感じた』。無心は太鼓と一緒に大事なこと。と述べられました。また、若上人はお嫁さんを貰って独り立ちし、英知上人を安心させて欲しい。と結ばれました。

### 鬼子母神大祭 彼岸会厳修

編集委員 大瀬 和江

桜の花もほころび、春の訪れを感じる三月二十八日、圓頓寺恒例の六大法要のひとつ、鬼子母神大祭と彼岸法要が厳修されました。

まず、大荒行再行を成満

された英人上人の法話で始まりました。身体は細くならず、一まわり小さく感じましたが、精神面では一まわりも二まわりも大きくなりました。檀信徒の皆さんへ百日間の荒行のお礼を述べられ、荒行堂での生活をお話しされました。

一日のうち、三時間おきに七回水をかぶり、水行以外の時間は荒ムシロに座り



佛山式清宴の大瀬さん（右から二人目）

読経三昧で、二時間半の就寝。暖冬とはいえ、厳しい修行で十名ちかい方が途中で断念されたそうです。そのような荒行を何故日蓮宗の僧侶がされるのか？ それには二つの意味があるということです。

一つ目は、忍難受苦の精神を養うこと。つまり、法華経を教えるための苦しみ、強い心と身体を養うため。

お釈迦様が六年間、難行苦行を行われ、菩提樹のもとで悟りを開かれたときのこと。日蓮大聖人が佐渡への島流しの時も難行苦行され、現在の荒行堂の中の生活よりも厳しい生活を三年間二冬の間、法華経を修行され、布教されたこと。日蓮大聖人の孫弟子にあたる日像上人に、自分が叶わなかったことを託され、日像上人

は、寒中海の中につきり修行され、京の都に布教されたそうです。

二つ目は、自己の罪障を消滅するため。そのような意味を込めて、日蓮宗の僧侶は荒行されることが、お話を聞いて少しだけ分かった気がいたしました。

英人上人は、この苦行の中、一月二十六日に遷化された先代上人のことを、一週間後にお聞きになり、悲しみの中での修行は、さぞおつらかったことだと思えます。十月末に車椅子で、英人上人の出發を見送られたお姿が最後で、私もその時お目にかかったのが最後になりました。お孫さんのお帰りを楽しみに待っていました。……

でも、百八十余名の荒行僧さん達が、遷化された先代

住職のために、弔いの読経をあげてくださったこと。これは、英人上人が修行中だったので、このようなお経を受けて、喜んで旅たれたことだと思えます。

英人上人の法話のあと、お彼岸法要と水行式がありました。

鬼子母神大祭は英人上人を導師に、吉田上人、原上人、福山上人、澤村上人の出仕で荘厳な法要が執り行われました。子供を鬼子母神にお預けし、毎日の無病息災、健康増進のご祈禱をしていただき、子供の成長を祈願する行事が鬼子母神大祭です。

私事ですが、私にも孫が四人いて、生まれるとすぐ鬼子母神に預けています。実は、昨年幼稚園を卒園した孫は早産で、二〇六〇グ



除夜の鐘：初つきを前に祈禱する住職

# 行事スナップ

ラムで生まれました。その孫が卒園式で、三年間皆勤賞をいただきました。二人だけでした。なかなか三年間の無欠席はいないと言われ、これも鬼子母神様の御加護なのかと、嬉しい思いをいたしました。

合掌



初講：心づくしのおときをいただく檀信徒



初講：法話中の渡辺義俊上人



立教開宗会、大黒尊天参列の檀信徒



立教開宗会：特別祈禱する住職



大黒尊天：子大黒様を清める住職



立教開宗会：一字一石写経する婦人会代表

お寺の行事

土用丑の日

七月二十日午前十時

お盆お施餓鬼法要

○当山では例年の通り、七月三十日(月)に、ほうろく灸祈禱会、お盆お施餓鬼先祖供養法要を催します。

祖供養・初盆供養の塔婆供養御希望の方は、早めにお申込み下さい。

一、施餓鬼三尺塔婆供養 二〇〇〇円

○特別の追善供養をささげるとともに、世界の恒久

一、特別六尺塔婆供養 五〇〇〇円

平和実現を祈る法要です。ので、お家族そろって御参詣ください。

○記念法話(午前十時)  
○ほうろく灸祈禱は、九時三十分と十二時にいたします。

○五十回忌供養・お盆・先

ます。

十月十三日(土)

午前十時

御会式法要

宗祖日蓮大聖人がお亡くなりになった日で、大聖人の偉大なご生涯をたたえ、しのぶ大事な日です。

日蓮宗徒にとって一番大切な法要です。

御会式には御会式桜を奉納しますが、これは、大聖人が亡くなられたとき、時ならぬ桜の花が咲いたという故事にちなんでおり、全国のお寺で行われています。

九月十二日(水)

龍ノ口法難会

文永八(一二七一)年、龍ノ口の刑場(現在の神奈川県藤沢市)で打首にされそうになったとき、不思議な天変がおこり首を切るこゝとができませんでした。龍ノ口寺では、三日間におたり法要が行われます。

十二月八日(土)

午前十時

荒神大祭

○一年間御護りいただいた三宝荒神(地・水・火)への感謝の法会。御先祖へ一年間の報恩感謝の供養をささげる日。

## あとがき

○檀那寺では、一妙院日淳（恵海）上人のご逝去と、順境院日攝（英人）上人の大荒行第再行成満という、慶弔ふたつの大きな出来事がありました。

○本号では、役員さん、編集委員さんらに原稿を依頼し、特集号としました。

○しかし国内では、政府税調会長の愛人との公務員宿舍同棲疑惑、某大臣の架空の事務所経費計上疑惑。そしていずれも辞任。別の大臣の女性に対するご無礼な発言。他の大臣、政党幹部も新聞・テレビで取り上げられました。とうとう自殺という最大の悲劇になりました。

○国土交通省に官製談合防

止法が適用されました。大手ゼネコンが、談合決別宣言後も談合していた名古屋地下鉄工事。林道工事で官製談合の疑いで強制捜査、逮捕。ガス管談合でも立ち入り検査。談合列島日本です。

○正月早々妹と夫のバラバラ殺人事件、男性の上半身、下半身遺棄事件。母親の頭部をもつての自首。他にも次々におこった殺人事件。とんでもなく物騒な日本になりました。

○無実の人が懲役三年で服役するという、信じられないことがあります。警察・検察・裁判・そして弁護人はどうしていたのでしょうか。

○選挙運動期間中に、立候補者が凶弾に倒れました。数日後、拳銃による射殺

事件が起き、犯人は自殺し、拳銃立てこもり事件もありました。

○金属類の盗難が頻発しています。逮捕が最高の抑止力です。盗難品流通ルートを解明して下さい。

○納豆でダイエットのテレビ番組で、納豆が店頭から無くなりました。しかし放送はねつ造でした。テレビも信用できなくなりました。

○給食費、保育費。払えるけど払わない人が増えていきます。保護者のモラルが欠如しています。

○嫌なことが多い世の中ですが、恵海上人の法燈継承以来のご尽力に感謝し、英人上人が今後檀那寺興隆、檀家の教化指導に力を発揮いただけることを確信しています。（谷）

### 発行所

山鹿城趾  
湯の町から

### 常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七二八

電子メール: a0115@orange.ocn.ne.jp

非売品

編集・編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限公司

### 盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三二一六〇七五

メール: info-seibunsha@hyper.ocn.ne.jp

# 輪番おとぎ、掃除当番地区表

本年度の輪番おとぎ、掃除当番地区は次の通りです。  
該当々番地区の皆様のご支援と御協力をお願い申し上げます。

**3月28日(水) 鬼子母神祭**

山鹿市										鹿本町			市町名
霊仙	志々岐	鹿校通	熊入町	熊入町	大宮町	大宮町	堀明町	小柳	来民	来民	来民	来民	町名
西川	坂梨	佐野利徳	塚本フミ子	井上栄治	阿蘇品玄徳	大久保健一	黒田賢之助	西山啓一郎	白石欽元	福山欽四	高森年春	地区総代名	
信子	新	徳	子	治	徳	一	助	郎	元	四	春	人員	
11	6	7	5	8	7	7	8	1	3	1	7	4	

**1月13日(土) 初講会**

山鹿市			鹿本町			鹿北町			市町名				
小原	桜町	桜町	中村	東庄	多生	芋生	一木	須屋	小川	福生	中津川	陣内	町名
大津山	荒木久直	松本哲雄	鬼崎省一	竹崎利治	原蒼生	芹川哲夫	鶴川義直	山本賢二	黒田文遙	古家勇	川上健吾	野中光男	地区総代名
博行	直	雄	郎	治	男	夫	直	明	遙	勇	吾	男	人員
5	4	3	4	16	5	10	1	4	3	1	17	5	4

**7月30日(月) 施餓鬼会**

山鹿市										和水町			市町名
平小	温泉	大宮	花見坂	温泉	栄町	大橋	太田	岩	岩	岩	岩	町名	
井上	川木アヤ子	荒木良太郎	単独配布	藤本賢一	古家由治	田久昇	横手クニエ	徳永克己	徳永克己	徳永克己	徳永克己	地区総代名	
敏幸	子	郎	布	子	一	久	昇	己	己	己	己	人員	
7	9	13	2	2	6	4	6	10	4	4	3	4	

**6月16日(土) 合同大掃除**

山鹿市										鹿央町		植木町		市町名
婦人会	長坂	宮宛	石	日吉	松坂	栗林	原野	下米	岩原	岩原	寺米	一木	豊田	町名
星子	井上	山下	坂本	島賀	単独	谷良	田上	原文	栗原	丸山	前田	菊川	地区総代名	
幸治	勝介	と子	憲二	与子	配布	太郎	夕エ	文雄	秀夫	二男	玲子	洋子	人員	
30	2	2	2	4	6	4	3	2	6	6	2	2	2	

**12月15日(土) 合同大掃除**

山鹿市										和水町			市町名
栗林	桜町	八之峰	久原	古閑	方保	方保	藤井	石	石	杉	町名		
佐藤	単独	伊藤	城田	小田	野満	水木	池田	前田	池田	地区総代名			
敏	配布	千恵子	ケイ子	進	三雄	カチコ	成浩	聖也	誠一	人員			
6	3	1	4	1	5	2	2	7	5	6			

**12月8日(土) 荒神大祭**

南関町			和水町			山鹿市			菊鹿町			鹿本町			市町名					
上坂	江田	久米	下津	西上	上町	九日	下町	上町	鹿通	鹿通	鹿通	古閑	山の	深瀬	郷原	三井	上高	中川	町名	
上田	上村	川原	坂梨	井上	中原	吉田	尾石	緒方	田中	単独	牧野	古閑	飯川	緒方	栗原	吉里	石原	中島	地区総代名	
常人	博	順一	之助	昭	也	靖夫	カ子	米子	加	加	盛道	幸男	仁男	義雄	聖一	富美	豊	敏明	人員	
3	3	5	3	3	4	10	6	3	4	5	4	4	3	7	5	2	6	1	2	3

10月13日(土) 御会式法要